

# 道徳科学習指導案

主題名「うそばかりついていると」 内容項目：A [正直、誠実]

令和元年6月25日(火) 第2校時 1年1組教室

1年1組 指導者 神保 康紀

## 授業の構想

### 1 価値観および児童観

価値観	児童観
<p>本主題は、小学校学習指導要領 道徳 A 主として自分自身に関すること [正直、誠実] [第1学年及び第2学年]「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。」に基づいている。</p> <p>1年生の発達段階として、自分に不利益が生じる場合には、うそをついてしまいがちである。過ちや失敗を認め、正直に明るい心で楽しく生活することの大切さを押さえておくことが、児童の成長のために重要なことである。</p>	<p>本学級の児童は、友達同士仲良く遊んだり学習したりして、楽しく学校生活を送ることができており、失敗したことを素直に謝することもできる。</p> <p>しかし、友達とトラブルになった時や学校生活のきまりを守れなかった時など、自分の言動を認められずにごまかそうとしたり、言い訳をしたりすることもある。</p> <p>本主題の学習によって、うそをつかないで正直にしようとする心情を育てたい。</p>

### 2 指導方針

視点	指導方針
自分との関わりで考えるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入では、うそをついてしまった経験について振り返りを行う。児童から経験が出にくい場合は、教師から、「宿題ができていないのに『できた』と言ったこと」「人の嫌がることをやったのに『やっていない』と言ったこと」はなかったかを問いかけ、本時の主題と自分との関わりを意識させる。</li> <li>まとめの過程で、本時の学習で考えたことを発表させ、自分の生活との関わりを意識させたい。</li> </ul>
多面的・多角的に考えるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が羊飼いの子ども、児童が大人の役割演技をすることによって、大人たちの気持ちとその変化を捉えやすくする。</li> <li>はじめは、羊飼いや羊を守るために、大人たちが本当に心配して助けに行ったことを押さえることにより、うそは相手に大きな迷惑を掛けることや、相手からの信頼を失うことに気付けるようにする。</li> </ul>

### 3 評価の視点

- うそをつかれた大人たちの立場に立って、羊飼いの子どもに対する怒りや不信感を理解することができたか。(役割演技を行ったり見たりしてからの発言・ワークシート)
- うそをつくとうなるかについて考え、うそをついたりごまかしをしたりせず、正直にしようとする意欲をもてたか。(発言・学習の様子)